

First Trust Nasdaq Semiconductor ETF
ファーストトラスト ナスダック 半導体 ETF

交付運用報告書

2024年3月31日に終了する計算期間

免責事項

この交付運用報告書は、2024年3月31日付 Annual Report の記載事項の翻訳に基づいており、日本における投資家の参照用に作成されたものです。投資家は、この交付運用報告書及び上記 Annual Report との間に齟齬が生じた場合、上記 Annual Report が優先されることにご留意下さい。

- (注) 1. 本書に記載の「ドル」又は「\$」という用語は、別段の記載がある場合を除き米ドルを指します。また、本書に記載の金額のうち通貨単位の記載がないものは、別段の記載がある場合を除きその通貨単位は米ドルです。
2. 本書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。

2024年10月24日

金融庁長官 殿

発行者

受益証券発行者名	ファースト・トラスト・エクスチェンジ・トレーデッド・ ファンド VI (First Trust Exchange-Traded Fund VI)
----------	--

代表者の役職氏名	プレジデント兼チーフ・エグゼクティブ・オフィサー ジェームズ・エム・ディカス (James M. Dykas, President and Chief Executive Officer)
----------	--

本店の所在地	アメリカ合衆国、イリノイ州、ウィートン、イースト・リ バティー・ドライブ 120 番地 400 号室 (120 East Liberty Drive, Suite 400, Wheaton IL 60187, United State of America)
--------	--

代理人の氏名又は名称	弁護士 樋 口 航
------------	-----------

代理人の住所又は所在地	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
-------------	---

事務連絡者氏名	弁護士 樋 口 航
---------	-----------

事務連絡場所	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
--------	---

電話番号	(03)6775-1142
------	---------------

外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載

した書面

(交付運用報告書)

投資信託及び投資法人に関する法律第 59 条において準用する同法第 14 条第 4 項及び第 6 項の規定により外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面（交付運用報告書）を提出します。この報告書の記載事項は、事実と相違ありません。

本書の記載事項の説明**1. 運用方針**

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」を参照。

2. 計算期間中における資産の運用の経過

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

3. 運用状況の推移

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

4. 計算期間の末日における純資産及び基準価額の状況

「貸借対照表」、「損益計算書」、「純資産変動計算書」及び「財務ハイライト」等を参照。

5. 信託報酬その他の手数料等

「ファンドの費用（未監査）」及び「損益計算書」等を参照。

6. 投資の対象とする有価証券等の主な銘柄

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」等を参照。

将来予想に関する記述についての注意事項

本報告書には、1933年証券法（その後の改正を含みます。）及び1934年証券取引所法（その後の改正を含みます。）の意味における一定の将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）及びその代表者の目標、信念、計画、又は現在彼らに利用可能な情報を考慮した現在の期待に関する声明が含まれます。将来予想に関する記述には、現在又は歴史的事実にのみ関連しないすべての記述が含まれます。例えば、将来予想に関する記述には、「予期する」、「見積もる」、「意図する」、「期待する」、「信じる」、「計画する」、「かもしれない」、「するはずである」、「するだろう」など、将来の出来事や結果の不確実性を伝える言葉の使用が含まれます。

将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれ、これらの要因が、本報告書で述べられているファーストトラスト・エクステンジ・トレーデッド・ファンド VI（以下「本トラスト」といいます。）のシリーズ（ファーストトラスト ナスダック 半導体 ETF。以下「本ファンド」といいます。）の実際の結果、業績、又は成果が、将来予想に関する記述によって表明又は暗示される結果、業績、又は成果と大幅に異なる可能性があることを意味します。この報告書に含まれる情報を評価する際には、これらの将来予想に関する記述に過度に依存しないよう注意してください。これらはアドバイザー及びその代表者の判断を、ここに記載された日付の時点でのみ反映しています。私たちは、ここに記載された日付以降に生じる出来事や状況を反映して、これらの将来予想に関する記述を公に改訂又は更新する義務を負いません。

パフォーマンス及びリスク開示

本ファンドがその投資目的を達成するという保証はありません。本ファンドは市場リスクに曝されています。これは、本ファンドが所有する証券の市場価値が減少し、その結果、本ファンドのシェアの価値があなたの支払った価格よりも低くなる可能性があることを意味します。したがって、本ファンドへの投資により損失を被ることがあります。

引用されているパフォーマンスデータは過去の実績を表しており、これは将来の結果の保証ではありません。現在のパフォーマンスは、示されている数値よりも低いか高いかもありません。最新の月末パフォーマンスデータについては、www.ftportfolios.com をご覧になるか、又は財務アドバイザーにお聞きください。投資収益、純資産価値、及びシェア価格は変動し、本ファンドのシェアは売却時に、その元のコストよりも価値が高い可能性もありますが、低い可能性もあります。

アドバイザーは、本ファンドのウェブページ（www.ftportfolios.com）で、定期的に本ファンドのパフォーマンスに関する追加情報を提供することがあります。

本報告書の読み方

本報告書には、投資を評価するのに役立つ情報が含まれています。本ファンドに関する詳細な情報が含まれており、本ファンドのパフォーマンスや投資アプローチに関するインサイトを提示するデータや分析が提示されています。

アドバイザーのチーフ・マーケット・ストラテジストであるロバート・F・キャリーによるマーケット概況を読めば、市場環境が本ファンドのパフォーマンスにどのように影響したかを理解できるでしょう。続く統計情報は、本ファンドのパフォーマンスが関連する市場ベンチマークと比較してどのようなものであったかを理解するのに役立つかもしれません。

アドバイザーの人員によって表明された意見は、あくまで情報に基づいた彼らの意見であることを念頭に置くことが重要です。これらの意見を約束や助言と考えるべきではありません。意見は、統計と同様に、本報告書の表紙の日付までの期間をカバーしています。本ファンドへの投資に伴う主要なリスクは、目論見書、追加情報のステートメント、及びその他の本ファンドの規制関連の提出書類に明記されています。

マーケット概況

ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.

シニア・バイスプレジデント兼チーフ・マーケット・ストラテジスト

ロバート・F・キャリー、CFA

キャリー氏は、ファーストトラストの商品に関する調査・分析の統括を担当しています。株式・債券アナリストとして30年余りの経験があり、公認財務アナリスト（以下「CFA」といいます。）の資格を有しています。イリノイ大学シャンペーン・アーバナ校を卒業し、物理学士号を取得しました。シカゴ投資アナリスト協会及びCFA協会の会員でもあります。Bloomberg TV、CNBCやWBBM Radio等の番組にゲスト出演するほか、The Wall Street Journal、The Wall Street Reporter、Bloomberg News ServiceやRegistered Representative等の出版物に引用されています。

世界経済の状況

2024年4月に公表された国際通貨基金（以下「IMF」といいます。）の最新の世界成長予測では、2024年の世界の実質国内総生産（以下「GDP」といいます。）は2024年1月時点の3.1%という予想から上向き、3.2%に上昇しました。IMFは、米国のGDPが2024年1月時点の2.1%という予想から上向き、2.7%に上昇すると予測しています。新興市場及び発展途上国のGDPは、IMFの2024年1月時点の4.1%という予想から上向き、今年は4.2%に上昇すると見込まれています。IMFは、現在の世界の成長予測は金融引き締め政策と低い生産性の伸びを反映して過去の平均（2000年～2019年）である3.8%を依然下回っていると指摘しています。

米労働統計局によると、消費者物価指数（以下「CPI」といいます。）で測定される2024年3月末時点の米国のインフレ率は、直近12ヵ月ベースで3.5%でした。CPIは2022年6月に付けた直近の最高値である9.1%から下落していますが、2023年6月に付けた直近の最低値である3.0%からは上昇しています。

世界の株式及び債券のパフォーマンス

米国の主要株価指数は過去12ヵ月間に大きく上昇しました。S&P 500® Index（以下「インデックス」といいます。）、S&P MidCap 400® Index及びS&P SmallCap 600® Indexは、2024年3月31日に終了した12ヵ月間にそれぞれ29.88%、23.33%及び15.93%のトータルリターンを計上しました。インデックスを構成する主要11セクターは、トータルリターン・ベースでそれぞれプラスとなりました。パフォーマンスが最も高いのは通信サービス・セクターで49.76%増となった一方、最も低かったのは公益事業セクターで0.42%増でした。

ブルームバーグが株式ストラテジスト21人を対象に行った調査によると、2024年末におけるインデックスの平均目標価格は、2024年3月19日時点で4,962でした。最高予想値及び最低予想値は、それぞれ5,400及び4,200でした。ファーストトラストのチーフ・エコノミストであるブライアン・ウェズベリーは、4,500という年末の目標価格を期待していると2023年12月に述べました。2024年3月28日、インデックスは史上最高値の5,254.35で取引を終えました。2024年の米国企業収益の見通しは極めて良好です。2024歴年及び2025歴年のインデックスの前年比利益増加率に関するブルームバーグのコンセンサス予想は、2024年3月31日時点でそれぞれ8.99%及び13.34%でした。

外国の総合株式指数は、昨年プラスのトータルリターンを計上しました。ブルームバーグによると、2024年3月31日に終了した12ヵ月間のMSCI World ex USA 株価指数及びMSCI Emerging Markets 株価指数は、それぞれ15.18%（米ドル）及び7.86%（米ドル）のトータルリターンを計上しました。外国の主要債券指数もプラスでした。ブルームバーグによると、優良債券からなるBloomberg Global Aggregate Bond Indexは2024年3月31日に終了した12ヵ月間に0.72%（米ドル）のトータルリターンを計上し、新興国市場の債券からなるBloomberg EM Hard Currency Aggregate Indexは同期間に9.53%（米ドル）上昇しました。米ドルは、米ドル指数（DXY）で測定されるように、主要通貨のバスケットに対して同期間に1.93%上昇しました。

米国債券市場もトータルリターンがプラスとなりました。我々が追跡しているパフォーマンスが最も高い主要債券グループは、米国企業のハイ・イールド債でした。Bloomberg U.S. Corporate High Yield Bond Indexは、2024年3月31日に終了した12ヵ月間に13.13%のトータルリターンを計上しました。我々が追跡しているパフォーマンスが最も低い米国債券グループは、米国財務省証券でした。Bloomberg U.S. Treasury Intermediate Indexは1.85%のトータルリターンを計上しました。ブルームバーグによると、指標となる10年物トレジャリー・ノート（以下「Tノート」といいます。）の利回りは期中に73ベーシスポイント上昇し、2024年3月28日に4.20%で取引を終えました。なお、2024年3月31日に終了した10年間の10年物Tノートの平均利回りは2.35%でした。

ファンドのパフォーマンス概要（未監査）

ファーストトラスト ナスダック 半導体ETF（以下「本ファンド」といいます。）は、Nasdaq US Smart Semiconductor™ Index（以下「インデックス」といいます。）と呼ばれる株価指数の価格及び利回り（本ファンドの手数料及び費用控除前）に概ね連動する運用成績を目指します。本ファンドのシェアは、Nasdaq, Inc.に上場しており、「FTXL」というティッカーシンボルで取引されています。本ファンドは通常、純資産（投資のための借入金を含みます。）の少なくとも90%をインデックスの構成銘柄に投資します。インデックスはNasdaq, Inc.（以下「インデックス・プロバイダー」といいます。）が所有し、開発し、維持し、スポンサーとなっています。

インデックスは、流動性に基づき選定された半導体セクターを構成する米国企業に対するエクスポージャーを提供することを目的としており、4つの投資要素（総収益、総資産利益率、モメンタム及びキャッシュフロー）の累積スコアに基づき加重されています。インデックスの当初の選定ユニバースは、Nasdaq US Benchmark™ Indexの構成銘柄のうち業種分類ベンチマークに基づき半導体サブセクターを構成するものとして分類される銘柄で構成されます。Nasdaq US Benchmark™ Indexは、時価総額が小規模、中規模及び大規模な米国企業のパフォーマンスを追跡することを目指す指数です。分類には、半導体その他の集積チップ（半導体資本設備やマザーボード等の半導体業界に関連するその他の製品を含みます。）の製造業者及び販売業者が含まれます。

パフォーマンス

	平均年間トータルリターン			累積トータルリターン	
	2024年3月31日に終了した1年間	2024年3月31日に終了した5年間	設立（2016年9月20日）から2024年3月31日までの期間	2024年3月31日に終了した5年間	設立（2016年9月20日）から2024年3月31日までの期間
本ファンドのパフォーマンス					
NAV	40.73%	24.13%	23.09%	194.74%	377.47%
市場価格	40.72%	24.16%	23.08%	195.04%	377.37%
インデックスのパフォーマンス					
Nasdaq US Smart Semiconductor™ Index	41.69%	24.93%	23.88%	204.37%	401.18%
Nasdaq US Benchmark Semiconductors™ Index	108.25%	37.26%	31.73%	387.17%	695.74%
Nasdaq US Benchmark™ Index	29.62%	14.41%	14.20%	96.01%	171.70%

（ファンドのパフォーマンス概要に関する注記を参照してください。）

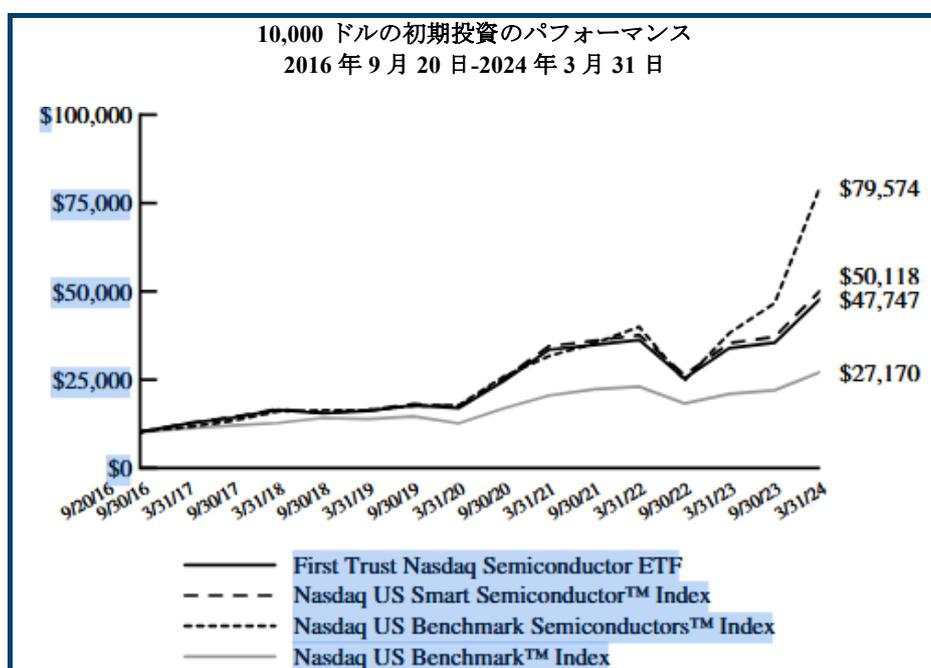
パフォーマンスレビュー

本ファンドは、本報告書の対象期間中に40.73%のNAVリターンを計上しました。同期間中、Nasdaq US Benchmark Semiconductors™ Index（以下「ベンチマーク」といいます。）は108.25%のリターンを計上しました。本ファンドは1業種への集中度が高くなっています。本ファンドは74.5%を半導体サブ業界に配分しましたが、そうした投資が当然ながら本報告書の対象期間中のリターンを主としてけん引し、ファンドの総合リターンを28.7%押し上げました。同期間中に本ファンドの平均ウェイトが大きかった他のサブ業界は半導体材料・装置サブ業界のみでした。このサブ業界への配分は22.0%であり、本報告書の対象期間中のファンドの総合リターンを12.7%押し上げました。

Nasdaq®及びNasdaq US Smart Semiconductor™ Indexは、Nasdaq, Inc.（その関連会社と合わせて以下「会社」といいます。）の登録商標及びサービスマークであり、ファーストトラストによる使用が許諾されています。本ファンドは、その適法性及び適合性について会社から承認を受けていません。本ファンドは、会社による公表、推奨、販売及び宣伝が行われません。会社は、本ファンドについていかなる保証も行わず、いかなる責任も負いません。

セクター・アロケーション	長期投資総額に占める割合
情報テクノロジー	100.0%
合計	100.0%

保有上位 10 銘柄	長期投資総額に占める割合
NVIDIA Corp.	8.8%
QUALCOMM, Inc.	8.3
Intel Corp.	7.9
Applied Materials, Inc.	7.9
Broadcom, Inc.	7.9
Microchip Technology, Inc.	4.1
Texas Instruments, Inc.	4.0
Amkor Technology, Inc.	4.0
Lam Research Corp.	4.0
Skyworks Solutions, Inc.	4.0
合計	60.9%



パフォーマンスの数値は、すべての分配金の再投資を前提としており、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを予想するものではありません。

ディスカウントとプレミアムの頻度分布

本ファンドのシェアの市場価格が本ファンドの純資産価額より高い（プレミアム）又は低い（ディスカウント）日数を示す情報は、直近の年度及びそれ以降の直近の暦四半期（又は本ファンドの存続期間が短い場合はその期間）について、<https://www.ftportfolios.com/Retail/etf/home.aspx> で入手できます。

ファンドのパフォーマンス概要に関する注記

設立以来の期間におけるトータルリターンは、本ファンドの設立日から計算されます。「平均年間トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の平均年間変化率を表します。「累積トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の総変化率を表します。

本ファンドのシェア1口当たり純資産価額（以下「NAV」といいます。）は、本ファンドのシェア1口の価値であり、本ファンドのすべての資産（未収利息や配当を含みます。）の価値から、すべての負債（未払費用や宣言されているが未払いの配当を含みます。）を差し引いて、発行済みシェア総数で割って算出されます。市場リターンを計算するために使用される価格（以下「市場価格」といいます。）は、本ファンドのNAVが計算される時点での全米で最良のビッド価格とオファー価格の仲値（以下「NBBO」といいます。）を用いて決定されます。証券取引委員会の規則によると、NBBOは、本ファンドのNAVが計算される時点で本ファンドを取引している各取引所の中で最も高い買い価格と最も低い売り価格から構成されます。2019年1月1日以前は、使用されていた価格は、本ファンドのNAVが計算される時点での本ファンドのシェアが取引されている証券取引所における最も高いビッドと最も低いオファーの仲値でした。本ファンドのシェアが本ファンド設立後まで流通市場で取引されなかったため、設立から本ファンドのシェアが流通市場で取引される最初の日までの期間においては、本ファンドのNAVを流通市場の取引価格に代わるものとして使用し、市場リターンを計算します。NAV及び市場リターンには、すべての分配金がNAVと市場価格で本ファンドに再投資されたと仮定しています。

インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。また、市場リターンには、流通市場取引に関して支払義務が生じる可能性のある仲介手数料は含まれていません。仲介手数料が含まれる場合、市場リターンは低くなります。表示されているトータルリターンは、インデックス内の証券における配当の再投資を反映しています。表示されているリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。本ファンドのシェアの投資リターンと元本価値は、市場状況の変化に伴って変動します。本ファンドのシェアは、償還される際や市場で売却される際に、元のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

ファンドの費用（未監査）

本ファンドのシェア保有者は、2種類のコストを負担します。すなわち、(1) 取引コスト、及び(2) 継続的な費用です。これには運用手数料、販売手数料及び/又はサービス（12b-1）手数料（該当する場合）、及びその他のファンド費用が含まれます。この例は、本ファンドへの投資に伴う継続的な費用（米ドル建て）を理解し、これらの費用を他のファンドへの投資の継続的な費用と比較するのに役立てることを目的としています。

この例は、期間の初めに投資され、2024年3月31日に終了した6カ月の期間を通じて保有された1,000ドルの投資に基づいています。

実際の費用

以下の表の最初の行は、実際の口座の価値と実際の費用に関する情報を提供します。この行の情報とあなたが投資した金額を併せて使用することで、その期間に支払った費用を推定することができます。単にあなたの口座の価値を1,000ドルで割ります（例えば、8,600ドルの口座価値を1,000ドルで割ると8.6になります）。その結果に、「6カ月間に支払われた費用」という見出しの最初の行の数字を掛けることで、この6カ月間にあなたの口座で支払った費用を推定できます。

比較目的の仮想例

以下の表の2行目は、本ファンドの実際の費用比率及び費用控除前の仮定された年間リターン5%を基にした仮想の口座価値と仮想費用に関する情報を提供します。これは本ファンドの実際のリターンではありません。この仮想の口座価値と費用は、期間の実際の最終口座残高や支払った費用を推定するために使用することはできません。この情報を使用して、本ファンドや他のファンドへの投資にかかる継続的なコストを比較することができます。これを行うには、この5%の仮想例を他のファンドのシェア保有者報告書に記載されている5%の仮想例と比較してください。

表に示されている費用は、継続的なコストのみを強調するためのものであり、仲介手数料などの取引コストは反映されていないことにご注意ください。したがって、表の2行目は継続的なコストの比較にのみ役立ち、異なるファンドを所有する際の相対的な総コストを判断するのには役立ちません。さらに、これらの取引コストが含まれていた場合、あなたのコストはより高くなっていたでしょう。

	2023年10月 1日時点の口 座開始価値	2024年3月31 日時点の口座終 了価値	6カ月間に 基づく年間 費用比率	6カ月間に 支払われた 費用 (a)
ファーストトラスト ナスダック 半導体 ETF(FTXL)				
実際	\$1,000.00	\$1,344.60	0.60%	\$3.52
仮定（費用控除前のリターンが5%）	\$1,000.00	\$1,022.00	0.60%	\$3.03
(a) 費用は、表に示された年間費用比率に期間中の平均口座価値（2023年10月1日から2024年3月31日まで）を掛けたものであり、さらに183/366（6カ月間を反映するため）を掛けたものに等しいです。				

貸借対照表

2024年3月31日

資 産:

投資（評価額）	\$1,436,039,673
現金	445,673
外貨（評価額）	—
受取勘定:	
配当	487,164
売却された投資有価証券	—
税還付	—
証券貸付収入	—
資産合計	<u>1,436,972,510</u>

負 債:

カスタディアンへの支払額	—
支払勘定:	
購入された投資有価証券	—
投資顧問料	734,320
交換されたシェア	—
貸付証券の担保	—
負債合計	<u>734,320</u>
純資産	<u>\$1,436,238,190</u>

純資産の内訳:

払込資本	\$1,150,079,855
額面価額	158,500
分配可能利益（損失）累計額	<u>285,999,835</u>
純資産	<u>\$1,436,238,190</u>
シェア 1 口当たり純資産価額	<u>\$90.61</u>
発行済シェア数（授権数の制限なし/シェア 1 口当たりの額面価額 0.01 ドル）	<u>15,850,002</u>
投資（取得額）	<u>\$1,111,764,603</u>
外貨（取得額）（手取額）	<u>\$—</u>
貸付証券（評価額）	<u>\$—</u>

損益計算書

2024年3月31日に終了した年度について

投資利益:

配当	\$15,273,656
利息	2,224
証券貸付収入（手数料控除後）	—
外国源泉徴収税	(132,759)
投資利益合計	<u>15,143,121</u>

費用:

投資顧問料	6,978,422
費用合計	<u>6,978,422</u>
正味投資利益（損失）	<u>8,164,699</u>

実現及び未実現の正味利益（損失）:

正味実現利益（損失）の内訳:	
投資	(21,471,517)
現物交換	126,854,913
外貨取引	—
正味実現利益（損失）	<u>105,383,396</u>
未実現増価（減価）の正味変動額の内訳:	
投資	283,840,801
外貨換算	—
未実現増価（減価）の正味変動額	<u>283,840,801</u>
実現及び未実現の正味利益（損失）	<u>389,224,197</u>
運用による純資産の正味増加（減少）額	<u>\$397,388,896</u>

純資産変動計算書

	2024年3月31日に 終了した年度	2023年3月31日に 終了した年度
運用:		
正味投資利益（損失）	\$8,164,699	\$741,203
正味実現利益（損失）	105,383,396	(7,865,888)
未実現増価（減価）の正味変動額	283,840,801	39,410,046
運用による純資産の正味増加（減少）額	397,388,896	32,285,361
シェア保有者への分配の原資:		
投資運用	(7,598,716)	(931,111)
資本の払戻し	—	—
シェア保有者への分配合計	(7,598,716)	(931,111)
シェア保有者取引:		
シェア売却手取金	600,114,531	903,564,157
交換済シェア費用	(541,762,571)	(55,273,060)
シェア保有者取引による純資産の正味増加（減少）額	58,351,960	848,291,097
純資産の増加（減少）額合計	448,142,140	879,645,347
純資産:		
期首	988,096,050	108,450,703
期末	\$1,436,238,190	\$988,096,050
発行済シェア数の変動:		
期首における発行済シェア数	15,250,002	1,550,002
売却されたシェア数	8,000,000	14,600,000
交換されたシェア数	(7,400,000)	(900,000)
期末における発行済シェア数	15,850,002	15,250,002

財務ハイライト

各計算期間中の発行済シェア 1 口について

	3 月 31 日に終了した年度				
	2024	2023	2022	2021	2020
期首における純資産価額	\$64.79	\$69.79	\$64.74	\$33.00	\$31.83
投資運用による利益:					
正味投資利益 (損失)	0.51 ^(a)	0.46	0.27	0.23	0.38
実現及び未実現の正味利益 (損失)	25.79	(5.14) ^(b)	5.22	31.75	1.18
投資運用による合計額	26.30	(4.68)	5.49	31.98	1.56
シェア保有者への分配の原資:					
正味投資利益	(0.48)	(0.50)	(0.26)	(0.24)	(0.39)
期末における純資産価額	\$90.61	\$64.79	\$69.97	\$64.74	\$33.00
トータルリターン ^(c)	40.73%	(6.54)%	8.46%	97.11%	4.82%
平均純資産に対する比率/補足データ:					
期末における純資産 (千単位)	\$1,436,238	\$988,096	\$108,451	\$84,156	\$31,353
平均純資産に対する費用合計の比率	0.60%	0.60%	0.60%	0.60%	0.60%
平均純資産に対する正味投資利益 (損失) の比率...	0.70%	0.78%	0.40%	0.45%	1.00%
ポートフォリオ・ターンオーバー比率 ^(d)	28%	46%	58%	113%	64%

(a) 平均発行済シェアを基準としています。

(b) シェア 1 口当たりの金額は、原投資の時価変動との関連で本ファンドのシェアの売却と買戻しの時期が異なるため、実現及び未実現の利益 (損失) の合計額とは関連しません。

(c) トータルリターンは、当初投資が期首の純資産価額で行われ、すべての分配が期中の純資産価額で再投資され、当該期間の最終日に純資産価額で交換 (redemption) がなされる、という前提で計算されています。表示されたリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの交換 (redemption) 又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。トータルリターンは表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。

(d) ポートフォリオ・ターンオーバー比率は、表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。また、設定 (creation) や交換 (redemption) の処理及び現物取引により受領又は交付された有価証券を含みません。